

学会の理念と役割・はたらき へのコメント

原子力機構

鎌田 裕

学会の役割

目標

存在感(魅力・実力・モラル)

国際化

学際化

人材育成

機能

提言・提案

発信・企画

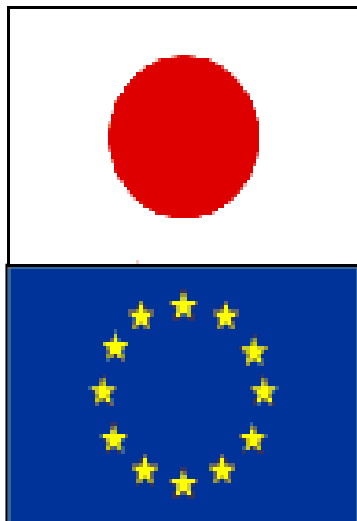
評価・分析

共有・協力 / 競争

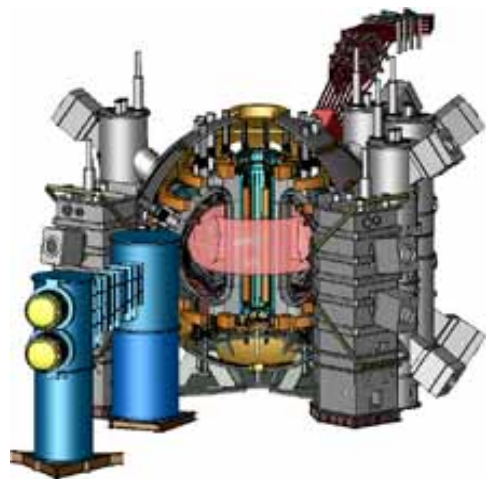
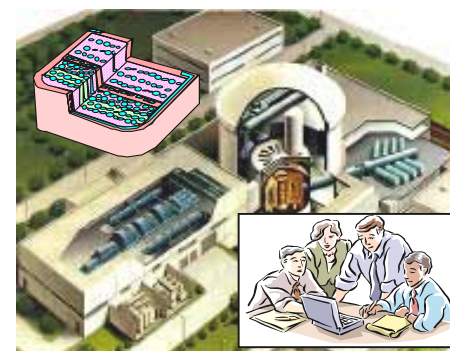
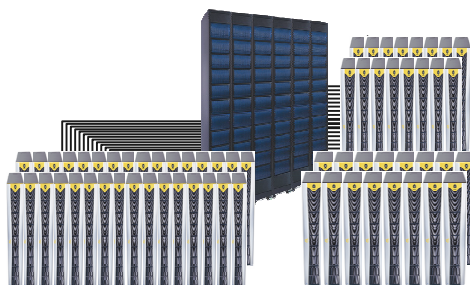
支援・激励

今後: ITER & BA時代の**魅力と責任**

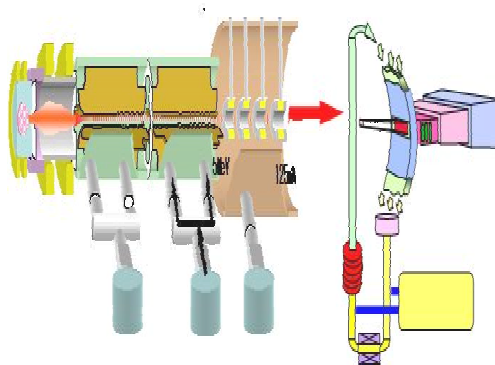
ブローダーアプローチ



国際核融合エネルギーセンター



計算機シミュレーション



原型炉設計R&D



サテライトトカマク

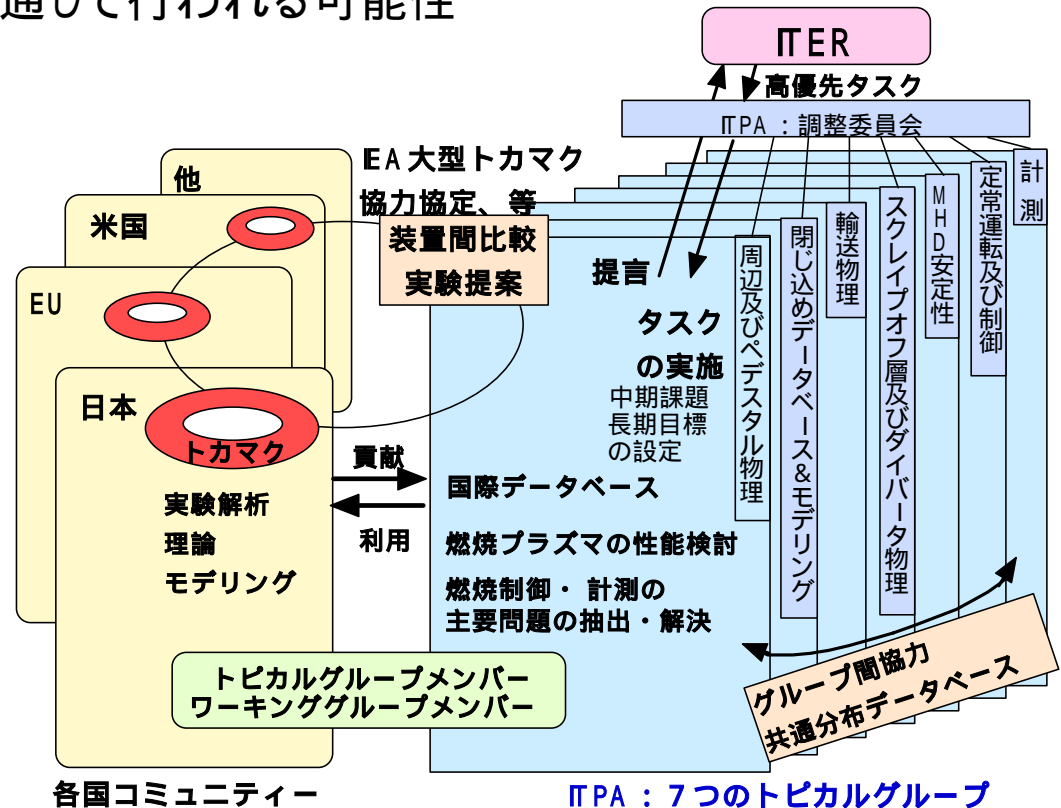
材料照射施設設計

ITER遠隔実験

国際トカマク物理活動 (ITPA) の役割と位置づけ

- トカマク物理研究における最大の国際活動
- ITER物理R&D活動を継承し、IAEA国際核融合研究委員会 (IFRC) の支持の下、日、米、欧、露、中、韓、印、ITERが参加。
- 調整委員会と7つのトピカル物理グループで構成、専門家委員総数248名
 日:39、米:40、欧:32、露:28、中:37、韓:31、印:28、ITER:12
 議長:日:2、米:3、欧:3、共同議長:日:1、米:2、欧:0、ITER:5
- ITER実験の立案、評価等も本活動を通じて行われる可能性

- ITERのための「最優先タスク」の実施
- 実験データベースの収集、評価
- 国際装置間比較実験の立案と実施
- 実験解析結果の収集、評価
- データベースの整備、管理、及び更新
- 理論モデルの構築、シミュレーション計算
- ITER等の核燃焼プラズマの性能検討
- ITER等の核燃焼実験におけるプラズマ制御及び解析に伴う、計測関連の主要問題の抽出及び解決



各国コミュニティー

ITPA : 7つのトピカルグループ

存在感(魅力・実力・モラル)

研究分野としての発展とダイナミクス
評価

国際化:核融合は国際。では、学会は？

ITER・ITPA、BA を支える日本コミュニティー

「支える」:提言、評価、発信、共有、競争、協力、支援

共同研究の支援

英語化:ITER/BA関連の外国人研究者多数参加

学会日程に合わせた国際会合の開催

学際化:「プラズマ」と「核融合」という魅力:学術・開発の同居

例「自律系・複合系」

「システム構築と最適化」プラズマ、ブランケット、炉全体

「計測・制御」

人材育成:最重要

スタジアムだけ作ってもダメ。日本代表チームの優勝・美しい試合

評価・分析→提言(キャリアパス)

場の提供

支援・激励